



小川村章

小川村議会報
第200号

議会だより

発行 小川村議会

〒381-3302 長野県上水内郡
小川村 大字高府 8800 番地 8
TEL (026) 217-1246
FAX (026) 269-3578 (代)

Eメール: gikai@vill.logawa.nagano.jp

発行責任者 小林和人
議会報編集特別委員会

印刷 (株)西条印刷所



道の駅に設置された
デジタルサイネージ(電光掲示板)

令和4年3月定例会

令和4年度当初予算を可決……………2

ロシア軍のウクライナへの軍事侵攻に

抗議し、即時撤退を求める決議を可決…4

議案賛否一覧表……………5

一般質問(質問順)

新井 幹夫議員……………6

久田 茂男議員……………7

鎌倉 一夫議員……………8

新議員紹介

塚田綾子議員……………4

常任委員会活動報告(閉会中の調査)

総務建経常任委員会……………9

社会文教常任委員会……………10

村民の声／村の公共施設施策に思う……………11

議会の動き……………12

議長のつぶやき……………12

編集後記……………12

令和4年度当初予算を可決

一般会計総額28億700万円 前年度当初比 3.5%減

新年度予算の概要

令和4年度予算は、村長選挙を控えての骨格予算であり、大型事業も無く、財政調整基金の繰入れもしない予算編成ではあるが、就業・創業移住支援事業や、移住定住戦略推進事業の拡充などの人口増対策、小・中学校のトイレ洋式化による環境整備、公営塾の開設での学びの充実、インフラ整備で不可欠な道路整備や橋梁修繕等、振興計画に基づいた事業もいくつか計上されている。

令和4年3月定例会は、2月24日から3月11日までの16日間開かれ、諮問1件、人事案9件、条例案9件、事件案2件、補正予算専決処分案1件、補正予算案5件、新年度予算案7件の合計34件について審議し、すべて原案どおり可決した。一般質問では、3名が登壇し村政について質した。

総務費

感染症対応臨時交付金事業として、消費促進商品券事業を行い、1人1万円分の商品券を交付し村内経済の活性化を図るものである。

移住就業・創業支援事業では、ワーキングホリデー実施に向けての経費が盛り込まれた。税業務では、システムの改修費用や、3年に1度の固定資産税評価替えに伴う不動産評価鑑定料が計上されている。

民生費

長野広域連合への施設管理費負担金や障害児入所給付費が増加している。在宅福祉支援センターでは高圧受電設備の改修を行う。

保育園では食器洗浄機や冷蔵庫の更新、感染予防のための一人用機の購入、福祉企業センターでは、製品運搬用の自動車の更新を行う。

衛生費

引き続き、新型コロナウイルスワクチンの接種経費を計上したが、前年度当初より予算は大幅に減少している。

農林水産業費

今年度から、新たに雑穀生産振興事業で補助単価を増額した。林業振興費では、森林環境譲与税活用事業として、間伐対策事業の経費が盛り込まれた。堆肥センターの屋根の修繕も行われる。

商工費

感染症対応臨時交付金事業として、今年度も宿泊応援事業・観光消費促進事業を行う。この事業は村内の宿泊施設に宿泊した際に1人3,000円を補助するものである。

また、中央拠点施設には、コロナ感染予防の換気対策として窓への網戸

の設置を行う。星と緑のロマントピア事業では、大洞野外ステージ前の遊具の塗装を行う。

土木費

道路舗装修繕工事や、社会資本総合整備事業として、橋梁修繕事業を行う。

公営住宅経費では、故障が多くなっているボイラーの修繕費用が計上された。

消防費

条例改正により、団員報酬や出勤手当等が前年度より増額した。災害時等に使用する、LPガスを燃料とする発電機を購入する。

長野消防協会ポンプ操法大会へは、北西分団が出場予定である。

教育費

今年度から開設を予定している、公設学習塾の講師謝礼、国からの指示

による学校運営協議会の設置に伴う委員報酬が計上された。

感染症対応交付金事業では、小学校・中学校共に窓への網戸を設置し、換気時の虫の侵入を防ぐものである。

国の補助金を活用し、小学校・中学校のトイレの洋式化工事を行う。公民館では、2階ホールの照明のLED化を行う。

びつくらんどでは、老朽化する設備の修繕の優先順位を決める調査を行う。

給食管理費では、冷凍冷蔵庫の更新や、感染症対策交付金事業で、今年度も郷土食「おやき」給食が計画されている。

災害復旧費

令和2年7月に発生した久木中村地籍の道路災害復旧事業の経費が計上された。

討 論

一 般 会 計 予 算

賛 成

新井幹夫議員

人口が減少している中で、地方交付税が前年度比1億3,000万円増額となっている。国の算出基準に沿っての計上であるが、担当者には今後の推移を注視されたい。

また、8年ぶりに財政調整基金を繰入れしない予算編成がされたことは評価する。財政力の乏しい本村では財源確保には常に細心の注意をもって取り組まれ、健全財政に努められたい。

コロナワクチン接種事業

業は、今年も800万円が計上され実施予定であり、その効果により早期の感染収束を望む。

事業費554万円を計上した、新規事業の公設学習塾開設は、小・中学

生の学力向上に効果があるものと思う。

西沢榮之助議員

消費促進商品券事業や宿泊応援事業及び観光消費促進事業は、観光事業の活性化支援に繋がるものと評価する。

公設学習塾開設は、学方向上に期待する。また、小・中学校のトイレ改修と網戸の設置は、感染防止対策と環境改善であり、子供たちが快適に学校生活を送れるよう早期着工を望む。

会計年度任用職員の時給見直しは評価すると共に、村内企業へも波及することを期待する。

村税の増額は、たばこ税の大幅な増収が要因の1つであり、道の駅やコンビニ誘致の成果と評価する。

なお、村長の公約でもある人口増対策としての村営住宅の建設費を本予算に組み込む力強さが欲しかったと思う。

鎌倉一夫議員

新事業の公設塾開設は、児童の基礎学力向上を目的としており、保護者の期待にも応えられるものである。

開設時期が未定であるが、早期開設に向けて事務調整を図られたい。

ワーキングホリデー事業は、事業の進捗が見えにくい委託事業なので、担当者には、状況を注視し数字的にも成果が上がらうよう強く望む。

県の最低賃金変更に伴い、会計任用職員の時間給も見直されたが、近隣市町村や民間企業の給与を参考にし、仕事の内容に応じた賃金支給となるよう引き続き賃金格差の是正に努められたい。

久田茂男議員

本村の財政は自主財源に乏しく、地方交付税が総予算の6割を占め、今後人口減少と高齢化により税収も増える見込みは無く、厳しい状況であるが、地方債や過疎対策

事業債等の有効活用で村の第6次振興計画の整備目標に沿って、地区要望や行政サービスに取り組んでいただきたい。

令和2年度からの感染症対応臨時交付金事業は、コロナ対策のみならず、村財政にも多大に寄与してきたが、令和4年度も

2,736万円の交付額で9事業を実施予定であり、成果を期待する。

令和 4 年 度 一 般 会 計 ・ 特 別 会 計 予 算 額

一般会計は、村長の任期が満了するため骨格型の予算となっているため、前年度比約1億円の減である。下水道事業特別会計は、夏和浄化センターに固定脱水機を設置するため、7,800万円の増である。

一 般 会 計		令和4年度	令和3年度	増減	増減率
		28億700万円	29億800万円	△1億100万円	△3.5%
国民健康保険特別会計	事業勘定	3億1,840万円	3億3,049万円	△1,209万円	△3.7%
	直診勘定	1億519万円	1億1,043万円	△524万円	△4.7%
簡易水道事業特別会計		2億5,150万円	2億3,814万円	1,336万円	5.6%
村営バス事業特別会計		3,600万円	3,406万円	194万円	5.7%
下水道事業特別会計		2億6,903万円	1億9,087万円	7,816万円	40.9%
介護保険特別会計		4億8,102万円	4億8,070万円	32万円	0.1%
後期高齢者医療特別会計		4,263万円	4,115万円	148万円	3.6%

特別会計予算

議案第29号

令和4年度小川村国民健康保険特別会計予算

賛成

新井幹夫議員

加入者の保険税負担額を前年と同額に抑えたことは評価する。今後も予防費の活用や、保健センタースタッフ等の活動で、加入者の健康管理に取り組み、保険税の負担抑制に努められたい。直営診療所の常勤医師が不在となっているが、関係機関に働きかけ、日替わりでの医師の確保は努力を認める。常勤医師の早期確保と、診療所が病気の早期発見や重症化を防ぐ村の拠点施設となるよう、更なる運営努力を望む。

ロシア軍のウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時撤退を求める決議を可決

3月定例会の最終日の11日に、西沢榮之助議員ほかから決議案が発議・提出され、全員賛成で決議された。決議内容は次のとおりである。

ロシア軍のウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時撤退を求める決議

令和4年2月24日、国際社会の懸命な外交努力にもかかわらず、ロシア軍はウクライナへの軍事侵攻を開始した。

これは力による一方的な現状変更であり、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反・国連憲章違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為を断じて容認できない。強く非難する。

武力により国の主権や人々の自由、生命を踏みにじる戦争は、死と破壊、憎しみしかもたらさない。

小川村議会は、ロシア軍が直ちに戦闘を停止し、軍の即時撤退を求めるとともに、世界平和実現に向けて、全世界が一体となって全力を挙げて取り組むよう、強く要請する。

併せて、世界唯一の戦争被爆国であり核兵器の使用禁止を対外的に訴え、国際秩序の維持に向けて取り組むことを要請する。

以上決議する。

令和4年3月11日

小川村議会

となりました、塚田綾子（つかだあやこ）です。明るい未来を思い描き現実を見つめ、世界に想いを馳せ地域で活動し、経験を活かし、経験だけに捉われず、学び続ける姿勢でありたいと気を引き締めて、「ひとつであること」の視点を持ち、村議会の場面で役に立ちたい思いを胸に、暖かい春を迎えています。村の大切なことを話し合う大事な機関である「議会」に参加できる事を、大変嬉しく思っています。また、議員としても多くの方といろんな話をしたいと強く思っていますので、お気軽にぜひ、お声がけいただければ幸いです。（携帯：090-1983-7432）

「政治」については右も左もわかりませんが、何かとご迷惑をおかけする場面もあるかと思えます。温かい目で見守っていただきたい気持ちと、ご指導のほどよろしく申し上げます。

議案第31号

令和4年度小川村営バス事業特別会計予算

賛成

新井幹夫議員

村営バス事業は、高齢

化が進む中で診療所への通院のほか、村内外に広く公共交通機関であり、村民にとって重要な事業である。デマンドバスも含めて、運行時間やルート設定など、常に利用者の立場に立って運行されたい。

新議員あいさつ

議員の欠員に伴い3月27日に執行された村議会議員補欠選挙で、塚田綾子さん（上野）が当選されました。



こんにちは。補欠選挙で静かな無投票当選の通知をいただき、新人議員

令和 4 年 3 月定例会 議員・議案ごと賛否一覧表

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 (議長は議決に参加しないため空白)

議案番号	議案の内容	審議結果	新井幹夫	西沢榮之助	伊藤幸光	久田茂男	大久保利廣	鎌倉一夫	大日方義次	西沢哲朗	小林和人
諮問1号	人権擁護委員候補者の推薦 (田島穴尾 福嶋美雪さん 再任)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	令和3年度小川村一般会計予算補正予算 (第9号) (専決処分事項)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	小川村固定資産評価審査委員会委員の選任 (高府下町 西条秀夫さん再任)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	小川村農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1にすることの同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	小川村農業委員会委員の任命 (花尾和田 宮下元夫さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	(上野 和田一秀さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	(日影 小林一明さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	(富吉栗本 大久保和彦さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	(成就第三 下蘭和秀さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	(法地中村 金木政子さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	(菅沼 宮林幸五子さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	(二反田 三水亜矢さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	行政手続における押印の廃止等に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	小川村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	小川村特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	小川村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	小川村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	小川村国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	小川村介護保険条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	小川村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	小川村公の施設に係る指定管理者の指定 (小川村農物産館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	令和3年度小川村一般会計補正予算 (第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	令和3年度小川村国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	令和3年度小川村簡易水道事業特別会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	令和3年度小川村下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	令和3年度小川村介護保険特別会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	令和4年度小川村一般会計予算	可決	○ 賛成 討論	○ 賛成 討論	○	○ 賛成 討論	○	○ 賛成 討論	○	○	
29	令和4年度小川村国民健康保険特別会計予算	可決	○ 賛成 討論	○	○	○	○	○	○	○	
30	令和4年度小川村簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	令和4年度小川村営バス事業特別会計予算	可決	○ 賛成 討論	○	○	○	○	○	○	○	
32	令和4年度小川村下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	令和4年度小川村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	令和4年度小川村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議1号	ロシア軍のウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時撤退を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	

陳情	提出者	付託委員会	審議結果
陳情1号 「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	長野地区労働組合総連合 議長 大矢 美奈子	総務建経常任委員会	採 択 (国へ意見書を提出)

一般質問
新井幹夫議員



国保直営診療所常勤医師の 確保の見通しは

村長 常勤医師として勤務頂ける先生と 現在交渉している

問 私の質問には、住民の素朴な疑問や要望が含まれます。

村長からは前向きなご答弁をお願いしたい。

まず、国保直営診療所に勤めて頂く常勤医師の確保について現在の状況をお伺いしたい。

村長 昨年7月から常勤医師が不在ということ、村民の皆様にご心配とご不便をかけていることにお詫び申し上げます。

この間、数名の先生方に常勤医師として勤務をお願いしましたが、お返事が頂けない状況であった。

昨年の秋に診療所に関心のある先生がおり、診療所の視察や、医師住宅と村内を案内している。

この先生には、新年度4月から週に2日間診療にあたっていただくこととなっている。

私は、今後この先生が常勤医師となってもいいと思う。

先生の都合が整えば、年度の途中からでも赴任してもらうつもりである。

地域おこし協力 隊について

問 地域おこし協力隊の隊員採用については、平成24年度からこれまで24名の協力隊員が村に赴任された。

この中で村に定住され

村の財政運営に ついて

問 令和2年の国勢調査の結果、村では大幅な人口減少が見られる。

このため、今後、地方交付税の減少が見込まれると思うが、昨年度の決算では地方交付税が村の歳入の54パーセントを占めている状況である。

今後の見込みを伺いたい。

村長 私は、どこの町村も財政が厳しい状況だろうと思う。

ている方は現在13名である。

このことは、村の若者

定住対策に大いに貢献していると思う。引き続き隊員の採用をするべきだと思いが、村長のお考えをお伺いしたい。

村長 私も、村の人口減

少対策と若者定住対策に効果があると考えている。

令和2年度では、全国で5,000人が活動しているそうだが、総務省では令和6年度までに8,000人まで増加させる計画で予算付けされると聞いている。

地方交付税の見通しは、行政運営・予算編成では当然、この動向をしつかり抑えて行かなくてはならない重要事項だと認識している。

交付税の推移を見ますと、20年前の交付税は20億円、10年前が18億円、ここ数年が16億円位の推移である。

10年で2億位が平均した減額となっている。

令和2・3年度に限って見れば増加に転じて、17億円程交付されている。

国勢調査による人口での交付税算定基準とする

現在、村には3名の隊員が活躍しているが、新年度は2名を採用し、5名体制で活動してもらおう予定である。

要望 今後も優秀な隊員の確保をお願いしたい

最大の効果を上げる」ように、職員の皆さんには肝に銘じて取り組んで貰いたいと思う。

村長 基金についてもう一点お話をしたい。

それは基金を増やして喜ぶ村民は少ないと思う。

公の財産・お金をいかに有効に使うかが重要だと考えている。

要望 村民要望は多岐に渡る。

積極的に状況を把握して、改善して頂きたい。とをお願いしたい。

一般質問

久田茂男議員



害獣対策に森林環境贈与税を

村長 地域活動支援補助金の有効活用を

問 長野県の『第4期ツキノワグマの保護管理計画』では、捕獲するのではなくクマと共存する保護管理を提案されている。害獣クマの生態系もあり、年々捕獲数も減少しているが、人身被害回避対策として、クマの誘引物である柿や栗の放棄された果樹の伐採整備が、藪・茂みの整備事業と出沒抑制が速やかにできる条例制定を猟友会の調査協力も得てできないか伺いたい。

村長 野生鳥獣による被害は本村のみならず全国的な社会問題であり、各自治体とも決定的な対策がなく、実際のところ電気柵の設置など手間暇をかけた対応をしている。収穫しなくなった柿や栗などの果樹が全国的にも増加傾向にあり、クマや猿が集落内の住宅の庭先まで出没するなど各地域で多く見られる。

村でも害獣対策のために出没する鳥獣の捕獲、耕作放棄地の緩衝帯整備、電気柵の設置補助など対策を講じているが、決定

的な効果的対策がない。栗の木や柿の木など放棄果樹の伐採等について条例等を定めたらという提案だが、数十年前までは柿の木も栗の木も家庭にとつては一つの財産であった。条例で処分云々と言う訳にはいかない。和手地区では伐採する柿の木を地区で拾い出して森林のクラブ等のボランティアをお願いした経過もある。

放棄された柿や栗の木の対応について支援策として、地域活動支援補助金で年間30万円、また個人支障木の伐採で2割補助10万円が限度額を利用してもらう。

放棄された果樹等が社会問題になつてるので、相応の支援策を一考する必要は十分ある。

問 害獣対策による伐採での伐採費用や補償費用に、森林環境贈与税災害防止等の措置命令事業の活用は可能か伺いたい。

村長 地域の実情があると思う。地域要望として、所有



放棄果樹にならない対策を(久木田島地区)

者への交渉はもちろん地域で行って頂き、伐採にかかった経費費用については地域要望として申請し今までと同様の取り扱いはなる。

村の支援策は緩衝帯整備要望での補助事業で、一旦整備したところは5年間は手をかけられないが、また茂みになり、5年後にまた緩衝帯整備をすることは、本来の形ではないが、茂みや藪の対応は緩衝帯整備事業の活用をしてほしい。

森林環境贈与税事業の植林造成と保育は

問 森林環境贈与税は全国で54%、271億円が積み立てられ、約半分はまだ使われていない況である。

令和6年度から全国で600億円増やして森林活用、森林環境贈与税の中で運用、提案決定がされている。

今年度は603万4,

000円の子算だが是非、間伐や支障木伐採事業だけでなく、採算性と将来木材活用があるのか分らないが、荒廃森林整備と合わせた樹木の種類や植林造成、保育の事業計画の取組みについて伺いたい。

村長 森林経営管理法が平成31年に施行され、各町村、各森林所有者の方も以後どうやって森林経営管理をしていくのか、町、村でも所有者と協議しながら計画の策定とのことで、実際県内でも、木曽地方、木曽周辺の10町村で15地区の管理計画ができています。

近隣長野広域管内の町村はまだどこも進んでいない。

財源があり、国の政策として進んでいるが、森林経営、また新たに植林しても採算性がない大変難しい状況である。

管理計画等それぞれ市町村で策定することになっていて、森林所有者の方や地域の皆さんと相談し進めていきたい。

一般質問

鎌倉一夫議員



交通弱者への対応は

村長 デマンドバスの充実に務めたい

問 高齢者の運転免許証の更新内容が今年の5月から大きく変わる。75歳以上の方で過去3

年間に一定の交通違反があれば運転技能検査が追加される。

合わせて認知機能検査もあり、大変な試験になりそうだ。

このことから運転をしながらも出来ない高齢者が多くならないか心配する。

交通弱者への移動手段をどう考え取り組んでいくのか伺いたい。

村長 中山間地域の移動手段としては車に頼ることが多く、交通弱者への交通手段は大変重要な対策と考える。

村では村営バスを運行しているが、時間や行先も決まっており使い勝手はよくない。

そこで、自分の都合で時間や場所を予約できるデマンドバスを、より一層利用しやすいよう改善することが一番の近道と考える。

サポカー補助金再開を

問 近年、高齢者の交通事故が後を絶たない。

交通事故削減に向けて衝突事故軽減ブレーキ付の車を購入した人に対して補助をした経過があるが、国でも対応が始まり村は中止した。

しかし、国は予算の範囲は終わったとして補助金の支給は行っていない。

こんな時こそ補助事業を再開しては如何か。

村長 令和元年度に補助事業を実施して22件の申請があったが、その後国の補助事業が始まり、村では二重支援だとして事業を中止した。

既に新車には全て安全装置が付いており、新車購入に補助金は出せない。

難聴者への補聴器購入補助を

問 65歳以上の高齢者の半数が難聴と言われ、高額である補聴器を使用する方が多い。

軽中等度の加齢難聴者に対して支援を望みたい。

村長 聴覚障害等級に該当される方には、国の補助金制度がある。

対象外の難聴者に対しての支援を実施している市町村は少数であり、村としては行わない。

集会施設改修に支援を

問 各地区の集会場は建築から50年が経過しており、屋根や壁の老朽化が目立ってきている。

会議室は畳の部屋が多く、高齢者にとっては座つての会議は辛いものがある。その為に椅子に変えてほしいとの意見も

少なくない。これらの施設は災害時に一時避難所となるため期限を設けても支援が必要と考えるが如何か。

村長 過去において施設改修に対しての支援要望は無かった。

今後、施設の老朽化が更に進めば支援は必要と考える。

プラスチック資源環境法の影響は

問 今年の4月から「プラスチック資源環境促進法」が施行される。

この新法は、プラスチック排出事業者へ排出抑制や再資源化を促すことを目的としている。

各自自治体に対しても分別回収の努力義務が更に求められていると聞く。今後のゴミ出しや分別方法に変わりがあるのか伺いたい。

村長 プラスチック資源の循環、分別回収に至る

まで関係業者また自治体、消費者での総合的な取り組みを進めるものとして理解している。

しかし、法律がまだ施行されていないため、具体的には解っていない状況である。

衛生組合の復活を

問 長野広域連合で取り組んでいる可燃ゴミの焼却、最終処分候補地選出など今後さらに村民のゴミへの意識は高まるものと考ええる。

以前のように各地域において、ゴミの分別指導をして頂ける役割を設けるべきと考ええるが如何か。

村長 過去の区長組合会の折に、人口減少や高齢化のため少しでも役職を軽減してほしいとの要望があり廃止した。

衛生組合の業務は少ないため設置予定はない。各組や自治会で置くことには関与しない。

委員会報告

総務建経常任委員会

閉会中の委員会活動

2月7日、委員4名と議長、委員外出席3名及び担当職員の出席により、所管事務調査を行った。

《所管事務調査》

薪乾燥用に使用しているパイプハウスの土地は村の土地であり、借地は無いとの説明だった。

【総務課関係】

星と緑のロマン館

おらず、生産がされていない。雪中野菜は近隣の町村でも行っているが、標高の高いところで行われている。今後検討していくとのことであった。

《管内視察》

農の花、さんさん市場、豆腐亭、千原C材ステーションを視察した。

千原C材ステーション

協力隊員が寒い所で、そば粉を製粉していたが、極力経費の掛からない方法での作業との説明だった。

1月より行っているエレベーター設置工事は、予定どおり2月中旬に完成の予定で進んでいる。定員は3名で、公民館に設置のものと同程

冬場に販売する野菜を増やすため、村から5棟の貸付をしたパイプハウスがあるが、冬への土づくりが出来て

さんさん市場

今年度導入し、村から補助を受けた麴発酵機の稼働状況や、製造している加工品などの作業状況を視察した。



農の花にて説明を受ける



そばの製粉機の説明を聞く

度の大きさとの説明だった。

館内すべてで繋がる

WIFI環境整備については、工事の発注は済んでいるものの、世界的な半導体不足の影響により、機器の製造が未定のため、翌年度への繰越事業としての説明だった。

先週末(2月4日)で、村への入金1,920万円、申し込みは、全体で2,020万円とのこと。

ふるさと納税の現状

返礼品はおやきの他、リング、エゴマ油などである。

返礼品に対する納税

者からのクレームは受けていない。

協力隊の今後の採用計画

現在の隊員は3名で、リング農家に2名、農林公社に1名が仕事を任されている。

来年度の採用予定は、募集を行ったところ、国内から5名、国外から3名の応募があり、意向を確認し、面接を行うとの説明だった。

アルペンドームの屋根からの落雪

県道までの屋根の雪が飛散するのを防止するた

めの金網のフェンスを設置してあるが、道路のセンターラインの所まで雪が飛んでいるのが確認できたので、対策をとるよう要望した。

【建設経済課関係】

大洞農物産館

(旧大洞地場産センター)

4月より新たな指定管理者として、公募・審査の結果、ロマン館と同じ大町市の(株)ハーヴェスタ・クリエーションズを指定管理者に予定している。

今まで行っていた、おやき・そばの販売を引き続き行っていくとの説明であった。

商品開発

信州大学・民間企業との連携での大豆を活用した商品の共同開発は、双方のメリットを考えると、ただ経費が掛かるだけで終わってしまうため、慎重さが必要であるとの意見があった。

委員会報告

社会文教常任委員会

閉会中の委員会活動

2月8日全委員と議長のほか4名の委員外の議員出席のもと、所管事務調査を行った。小学校のパソコンの利用状況・長野広域連合最終処分場候補地(梶尾)の視察は、コロナ感染防止のため中止した。

《所轄事務調査》

【教育委員会関係】

小中コロナ感染防止対策

感染対策には細心の注意を払っている。三密対策の実施、手洗いやマスクの着用、黙食など、対策強化を教育委員会より指示を出している。また学校より保護者に感染防止についてお願い

をしている。

学習塾の開設に向けて

村は公設塾の開設を検討している。

教科は、英語・数学・理科として、対象学年も検討している。講師については信大の学生や村内の経験者に協力を得たい。

ボランティア的な考えでない対応をするよう申し入れる。

ALT

(外国語指導助手)

国のコロナ感染防止の、水際対策のため来日できない状況が続いている。

小学校にもALTの配置をし、英語を身近に親しむことなどを要望した。

安全な通学路の設置を

以前より指摘をしていた、鶴牧田・大久保間の通学路の改良を、県の事業で実施することになる。

工事着工には村の要望も伝え安全な道路にするよう要望する。

成人式開催される

令和4年の成人式が1月3日行われ22名の出席

者があった。

令和3年対象の式は中止され、対象者には、記念品を届ける。

社会教育関係感染対策

公民館・図書室、びつくらんどの利用は村内者のみの利用にしている。びつくらんど体育館は、ワクチン接種の会場のため、その間は利用できない。

【住民福祉課関係】

3回目のワクチン接種

65歳以上の方へは、2月16日から20日に、18歳以上の人も高齢者と同様の日程で実施する。

3月4日から6日の間も実施する。3月接種のワクチンは、ファイザー製を使う。

医療関係者の接種について、診療所は1月に実施した。サンリングの職員は、利用者の接種時に行う。

村外から通勤している職員は、接種券が無くても2回目を確認できれば接種する。

診療所常勤医師

現在不在である常勤の医師について、以前より交渉していた女性医師が、令和4年4月から、週2日、月・火曜日に内科診察を行うことになった。

また、遅くとも令和5年度より常勤になるようである。

福祉暖房費

1月の臨時議会で可決した福祉暖房費の支給について、241世帯が対象になり通知した。

1月末で89件の申請があり、2月4日支給する。3月末までの受付である。

申請漏れが無いように配慮することを申し入れる。

保育園・コロナ対策

2月から、コロナ感染防止対策として、家庭で保育ができる方は家で見ている。

8割の方は、保護者の仕事などにより、保育園に登園している。

子育て支援センターでは1日当たりの受け入れを2組に限定している。



村民の声

～村の公共施設施策に思う～

稲丘西 宮永正浩

2018年の春に小川村に移住して以来、数ある公共施設の中で一番多くお世話になっているのは、息子二人が通う「にこにこ保育園」でしょうか。

週5日、多いときには6日。延長保育もお願いしており、父親である自分よりも多くの時間を保育園で過ごしてもらっているおかげで、優しく、ときに厳しく接してくれる先生方や多くの友達たちとのかけがいのない時間を過ごさせていただいています。

現在お休み中ですが、最近では長男がびつくらんど小川でのスイ

匿名

今の村に思うことは合併しないで自立の村を選択し歩きだしていることです。

自立してしばらくは、隣村の中条や新町の様子が気になりました。また、この先どんな事が起きるのか。村からはどんな方針の変更があるのか。長野市へ合併しなくて大丈夫かと言う声も、当時は聞こえてきました。

私は、心配は無いと思うことになりました。それよりも毎日の生活に流がされてしまっていました。

これからの村のことはどうした

ミングスクールを楽しみにしておりました。

とかく、公共施設という生活に欠かせないものがある一方でハコモノなどと呼ばれ贅沓の分かれる事が多く、おそらくこちらのスペースでも多くの意見が出てきたのかと想像します。

公共施設とは地域の人々が集まる場所ではありますが、このコロナ禍においては対応に苦慮されているかと思えます。

また小川村の長い歴史の中で施設も徐々に老朽化しており、それぞれが持つポテンシャルを活かされなくなってしまう施設もあるかと思えます。

らよいか。匿名で良いから書いてと言われて、渋々書き始めました。

さて、これからの生活がどうなるかだが、部落の共同で行う作業道こそ、道の草刈などは役場からの支援が始まってきたことは、大変ありがたいと思っています。

これも高齢者支援だと思えます。集落支援だとも思えます。若い人にこの仕事を押し付けることは転出を助長してしまうと思えます。

国や県でも少子・高齢化が進んでいます。若い人は都会に憧れています。

そんな中、この村を、どうする

そんな今だからこそ、今後の公共施設のあり方を真剣に議論するべきだと思えます。

老朽化してしまった施設はただただ壊してしまうのか、それとも新たな視点をもって新しい利用方法を考えるのか。せつかくある施設を少ないコストでパフォーマンスを高められないか。

いまの厳しい閉塞的な状況だからこそ、大きい駐車場を持ち開放的な大洞高原やアルペンドームなんかも村外の方たちを受け入れ野外イベントを行うなど輝くチャンスがあるのではないのでしょうか。

コロナ禍にあつてどのように変化していくか。既成概念にとらわ

のか。若い人が居ない村はどうなるのか、私は想像してみると保育園・小・中学校どうなるのだい。

隣の中条では、小川村の子どもの多いことを羨ましそくに言っていますが、もう何年か後には小川でもそうなると思われるうれしくありませんでした。

この村の課題は、若者定住・人口増加対策だと思います。そして、その人達と仲良くすることだと私は思います。若者定住は、職場に通勤しやすいオリソニック道路沿線に、公営住宅と宅地造成を行うことが良いと思っています。

村営住宅は毎年数個を計画して

れることなく柔軟な視点で進化や変化をしていくことが、小さな村がこれからもあり続けることに繋がるのではないのでしょうか。

親として過ごしているかどうか。今後20年、30年後自分子どもたちが小川村に居続けたい！戻って来たい！と思えるような環境をぜひ整えてほしいですし、子どもたちにワクワクや刺激を与えてくれるような施設や環境を、村民全体の力で創り上げていけるような状況になれば良いと思います。

建設する。思いつきで建設するのでは駄目だと思います。

分譲の宅地も5〜10個位造成して販売するなどしていったら良いのではと思っています。

しかし、小さな村では財政に余裕が無いことも分かります。

村の中にある無駄を見つけないと、そして使用を止めることだと思います。

これを実行するのは、行政（村長）だと思います。

今後は、どのように行いか、見守りたいと思います。応援したいです。

議会の動き

16	15	11	9	4	3	3月	28	25	24	22	17	10	8	7	2月
式	中学校卒業証書授与式	社会福祉協議会理事評議員会	社会福祉協議会理事会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会	議会報編集特別委員会

今回は、議会報という形で村民の皆様にも、議会での出来事を定期的に書面にてお知らせを致し始めてから、区切りの200号としてお配りする運びとなりました。その歴史を紐解いてみますと、記念すべき第1号は昭和47年に時の議長であった徳武隆本さんの発刊者でありました。以降、年4回の定例議会後毎での発刊であります。ちなみに100号の発刊はその25年後で、時の議長であった鎌倉辰弥さんによるものであります。その後には流れ、その25年後、つごう50年目の今回となりました。時の流れを感じ、感慨もひとしおです。

議長のつぶやき

議長 小林和人

議会報200号発刊に思いをはせて

この等に時間がかり、発行まで3か月間を要しました。しかし近年では、改革と努力によって1、2か月後には皆様のお手元に届く運びになっています。一般質問記事も議員自らの作成です。句をお届けしたいと編集委員会一同で頑張っています。今後とも議会・議会報に注視を!!

の新聞みたいにはいきません。議会での傍聴もその思いと熱量は伝わりますが、全体の活動の中での一部分の動きで議会日程の一つであります。議案調査等々いろいろです。

しかし、村民の代弁者であり行政の検証機関としての役割を担っている議会や議員の動きを、村民全体にお伝え出来る大きな手段である事には違いないです。又、村民の皆様より議会に対しての声を聴かせてもらえる、資料としての役割もあると思います。近年の議会報としての作成手順を見ても、前には定例会が終わってからの議事録起

編集後記

年明けからの大雪で除雪費が増加していますが、道路(ライフライン)の確保は住民の生命線です。早朝からの作業に、住民はみんな感謝しています。

ロシアのウクライナ侵攻から1ヶ月あまり、早い停戦を望みます。戦争から何も得るものではありません。

3月定例会では、骨格予算となる当初予算が提案され、公設学習塾の設置費用が可決されました。大勢参加されることを望みます。

今定例会には、3名が一般質問を行いました。これは、議員でなければできません。質問者が減っていることは、議会の活力が低下することになると思います。

議会報編集特別委員会
委員長 久田 茂男
副委員長 大久保利廣
委員 新井 幹夫
西沢 榮之助
鎌倉 一夫